

「頸動脈三角および styloid diaphragm の構造と内頸動脈との位置関係（解剖学実習用献体での観察研究）」のお願いとお知らせ

1. 研究の対象

防衛医科大学校に献体された解剖学実習用遺体

2. 研究目的・方法・

内頸動脈狭窄症に対する、頸動脈内膜剥離術 (CEA: carotid endarterectomy) は脳梗塞の予防の手術として脳卒中ガイドラインで grade A として推奨されています。しかしながら日本人は頸動脈分岐部が欧米人と比較し 1 椎体ほど高いことが知られており、高位（狭窄末梢が頸椎 2 番にかかるもの）の CEA に遭遇する機会が多く 20-30% があると報告されています。高位で分岐する内頸動脈をどの高さまで露出可能であるかについて、解剖学実習用献体を用いた解剖学的な検討を行い、CEA 手術に役立てることを目的といたします。

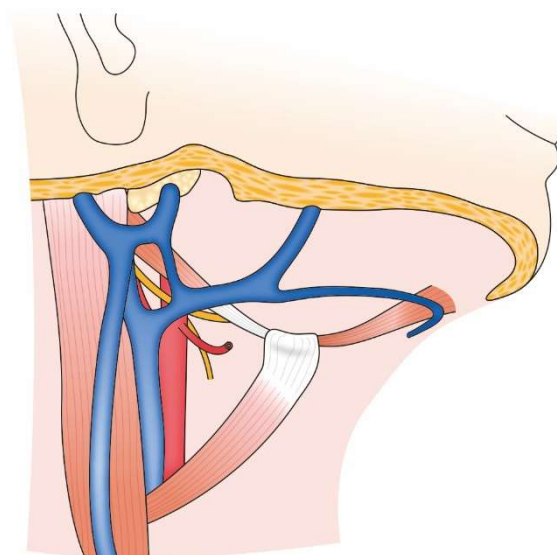


図 頸動脈内膜剥離術における頸動脈三角と頸動脈分岐部の位置関係

3. 研究に用いる試料・情報の種類

学校長承認後に脳神経外科学講座の臨床解剖学実習で使用する献体を対象にいたします。新たに研究のために検体を採取する事はありません。献体の氏名、年齢等の情報はID等の個人情報とは無関係な番号付与による匿名化によって管理され、プライバシーが保護されます。

3. お問い合わせ先

解剖学実習用献体をご提供いただいた親族の方で、献体から得られた解剖学的情報を研究に使わないでほしいというご希望があれば、下記連絡先までご連絡をいただけますようお願いいたします。

なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても不利益を被ることはありません。

連絡先：防衛医科大学校病院

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

所属： 脳神経外科学講座

職名： 教授

氏名： 和田孝次郎

電話番号： 04-2995-1511（代表）